

令和元年度 江南市社会教育委員会兼江南市公民館運営審議会に関する議事録

- 日時 令和元年6月3日(月) 午前10時～11時30分
- 場所 江南市役所 第3委員会室
- 出席者 出席委員11名
 - 伊藤 鶴吉 (学校法人聖英学園名誉理事長)
 - 鷹見 孝子 (少年補導委員)
 - 早川 浩史 (江南市校長会代表)
 - 神谷 文子 (公民館フェスタ実行委員)
 - 佐藤 美恵子 (江南市文化協会会長)
 - 滝 滋 (江南市文化協会顧問)
 - 石井 雅彦 (江南市体育協会副会長)
 - 駒田 庸 (江南市スポーツ推進委員会会長)
 - 河合 正猛 (江南市スポーツ少年団本部長)
 - 谷田 潔 (江南市文化財保護委員)
 - 山 登志浩 (江南市議会厚生文教委員長)

欠席委員

- 熊崎 規恭 (江南市校長会代表)
- 伊藤 由香 (愛知江南短期大学学長)
- 藤澤 薫 (江南市PTA連合会会長)

■議事

会長	<p>議題（１）平成３０年度生涯学習事業実績について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>平成３０年度生涯学習事業実績について説明 公民館事業実績、生涯学習課関連の機構改革についても報告</p>
会長	<p>ただいま、平成３０年度生涯学習事業実績について説明がありましたが、何かご意見・ご質問があればお願いします。</p>
委員	<p>29～30 ページにある少年センターの相談について、平成 30 年度は前年度に比べて件数がかかなり増えているが、この相談件数は延べ件数でしょうか。また、相談されたことに対してどのように改善・解決をしているのか、学校や家庭との連携はどのように行っていますか。</p> <p>52 ページの「フレンドシップ国交流事業」のブルキナファソとの交流は、愛知万博をきっかけに始めたと思いますが、学用品の送付はどのような形で行っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>少年センターの相談件数については延べ件数です。また、相談内容に対しては、少年センターの職員が相談者と連絡を密に取り合い、相手の意見に寄り添う形でアドバイスをを行い、解決というよりも手助けをしています。</p> <p>ブルキナファソについては、生涯学習課で学用品やランドセルを受付し、まとめて送付しています。また、ブルキナファソからは子どもが書いた絵を送っていただき、夏に国際交流フェスティバルにおいて展示を行っています。</p>
事務局	<p>少年センターの相談はほとんどの方が匿名で、その場で職員が話しを聞いてアドバイスをしています。名前がしっかりとわかっており、ある学校においての問題である場合は、教育委員会を通じて学校と対応をすることもありますが、ほとんどの場合は匿名相談なので、その場で内容を聞いて対応をしています。</p>
委員	<p>親からの相談が多いですか。また、ブルキナファソは大使館を持っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>高校生は本人からの相談もありますが、小中学生は親からの相談が多いのが現状であると認識しています。ブルキナファソは大使館がありま</p>

	す。
委員	資源ごみの指導員をやっていますが、春休みになるとランドセルがゴミとして捨てられています。6年間使っていてもきれいなものが多いです。ランドセルの受け取りの窓口と期間を教えてください。
事務局	生涯学習課で随時受付をしています。
委員	12ページの「成人の集い開催補助事業」について、参加者が848人ということですが、対象者はどれくらいでしょうか。
事務局	去年は1,106人が対象者でした。
委員	今の成人式はどのようなものですか。
事務局	「成人の集い」として、実行委員会形式で、成人の方が自ら企画運営をするという形をとっており、青年会議所と市が手助けをしています。
事務局	非常に落ち着いた「成人の集い」で、前半の式典の来賓あいさつなどでは多少ざわつくことはあっても、席について式典に臨んでいます。式の後半は、実行委員のメンバーが中心となってアトラクションを行い、皆で楽しむプログラムとなっています。
会長	他に質疑もないようですので、議題（1）を終わります。 続いて議題（2）令和元年度生涯学習事業施策について説明をお願いします。
事務局	令和元年度生涯学習事業施策について説明 公民館事業予定についても報告
委員	2ページの生涯学習懇話会について、昨年度の懇話会でのご意見や課題とされた内容はどのようなものでしたか。
事務局	江南市は文化の発展が乏しい、力を入れてほしいというご意見をいただきました。
委員	文化的な活動や事業計画が少ないということですか。

事務局	<p>文化があまり根付いていない部分があるという意味で、例えば文化協会だと高齢の方が多くなってきています。</p> <p>昨年度から美術展は小中学生も審査を行い、賞をもらうことによって、小中学生にも文化に関心を持ってもらうようにしているところではありますが、なかなか発展が見られないというご意見をいただきました。今後、力を入れてやっていきたいと思っています。</p>
委員	<p>人口が減ってきている中で、文化事業、例えば公民館フェスタや文化祭の参加者も減ってきています。高齢化が進んでいるのでやめたい、という理由でサークルが減りました。いろいろなサークルに高齢者が参加し、趣味をのぼすようなことができるように市でも考えていただきたい。</p> <p>6 ページの「3. 文化団体の育成」には「市民文化会館や公民館等で活動している団体に対して、地域の芸術・文化の向上を図るために江南市文化協会への加入を促し、文化団体の育成を行う」と記載がありますが、この1年間で文化協会の加盟団体は2団体減りました。文化祭の参加団体は、負担金の支払いがあります。これでは文化団体の育成にはならないと思うので、工夫をしていただきたい。</p> <p>例えば公民館サークルであれば公民館使用料の減免など、会場確保だけでもできたらよいと思います。</p> <p>文化は残していかなければいけないと思っています。サークル活動が活発なところは認知症の方の割合が少ない、という調査結果を新聞で見ましたが、江南市も今後考えていただきたい。</p>
事務局	<p>文化団体を育てるための市としての姿勢を見せてほしいとのご意見をいただいています。市としても「教養を深め、文化の高いまちにしましょう」という市民憲章がありますが、今後もいろいろなご意見を賜りながら研究を深めていきたいと思っています。</p>
委員	<p>5 ページに「総合型地域スポーツクラブの支援」とありますが、この運営はどのような状況でしょうか。</p>
事務局	<p>平成30年度は462名の方が会員となっています。開催事業は20近くあり、かなり幅広く事業を展開しています。参加者数が多い競技、少ない競技があるので、そういったところをどのようにしていくかということは課題の1つであると思っています。現在は、市から補助金を出していますが、自立に向けて好ましい状況にあると考えています。補助金がなくなっても運営していけるのではないかという状況です。</p>

委員	具体的にどのような事業なのか、競技名を教えてください。
事務局	リラックスヨガ、ゆったりヨガ、エンジョイヨガ、楽しいフラダンス教室、スナックゴルフ教室、わくわく健康体操、バドミントン教室、将棋教室など平成30年度は全部で21教室運営をしました。
会長	<p>それでは、続いて議題（3）の意見交換に移りたいと思います。</p> <p>委員の皆さんには「江南市の生涯学習」について、ご意見をお聞きしたいと思います。これからの生涯学習事業の振興・発展のため、ご自由に発言をお願いいたします。</p>
事務局	<p>「成人の集い」について、成年年齢が20歳から18歳に引き下げになりますが、江南市では引き続き20歳で成人式を行うという方向で検討しています。市民の方にもホームページを通じて公表していきたいと考えています。</p>
会長	それでは、最後に議題5の「その他」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>(1) 丹葉地区社会教育委員研修会について</p> <p>(2) 第50回東海北陸社会教育研究大会三重大会について</p> <p>(3) 第55回東海北陸公民館大会愛知大会について</p> <p>(報告事項)</p> <p>佐藤委員：愛知県社会教育委員連絡協議会表彰</p> <p>伊藤鶴吉委員：全国社会教育委員連合表彰者として西尾張支部より推薦</p> <p style="text-align: center;"> ≪令和元年度 江南市社会教育委員会 兼江南市公民館運営審議会 終了≫ </p>